

JAPAN LADIES TENNIS FEDERATION SAITAMA

50th ANNIVERSARY



50 周年記念誌 | 2026 年 4 月

発 行	日本女子テニス連盟埼玉県支部
発行者	高橋 光子
編 集	50 周年記念誌編集委員会

埼玉県支部だより No.43 | 2026 年 4 月

発 行	日本女子テニス連盟埼玉県支部
発行者	高橋 光子
編 集	広報委員会

事務局 <https://jltf-saitama.org/>



高橋光子 支部長

ご挨拶

この度、日本女子テニス連盟埼玉県支部は、1975 年（昭和 50 年）に初代支部長故 坂井千恵さんを中心に関係者各位の温かいご支援のもと 149 名で結成されてから今年で 50 年を迎えることが出来ました。

この 50 年という長い年月を振り返った時、歴代の支部長はじめ役員の皆様の努力、会員の皆様のご理解、関係各社様のご協力が無ければ、この日は迎えられなかったと改めて感じます。

皆様に心より感謝申し上げます。

支部の活動を振り返るにあたり 30 周年記念誌から現在までの広報誌を何度も読み返し、あゆみの作成をいたしました。ニーズに合わせた大会も増え、全国レディース（朝日レディース）テニス大会、ピンクリボンレディーステニス大会、八都県大会等では全国決勝大会や県外での大会に参加し素晴らしい成績を収めております。

また県内の大会・親睦会はもちろんの事、審判活動、ラブ基金などの募金活動、ピンクリボン大会の乳がん早期発見運動、ちびっ子テニスの普及（ファミリーエンジョイテニス）、車いすテニス、ブラインドテニスのボランティア活動等テニスを通じて社会活動にも貢献しています。

一時は 4,000 名を超え全国一の会員数を誇った埼玉県支部ですが、社会情勢は目まぐるしく変化し厳しい経済状況、少子高齢化もあり今では 2,200 名弱となりました。

支部結成時の主旨

『テニスの輪を広げると共に、心の和を広げよう』

本部運営理念

『誠意・情熱・希望』

を常に心掛けて、新しいチャレンジも恐れず未来に繋げていきたいと思います。

長年ご支援ご協力くださいました会員の皆様、関係各社様、51 年目を一歩踏み出した埼玉県支部の発展をこれからもどうぞ見守ってくださいますようよろしくお願い申し上げます。





日本女子テニス連盟会長
武正八重子

埼玉県支部創設 50 周年記念 お祝いの言葉

この度、日本女子テニス連盟埼玉県支部創設 50 周年という記念すべき節目を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

1975 年の創設以来、初代の故 坂井様、岡田様、秋山様、滝本様、海田様、松井様そして現在の 7 代目支部長高橋光子様へとバトンを繋ぎ、歴代役員・会員の皆様が力を合わせ、時代の変化に柔軟に対応され、一丸となり様々な活動を続けてこられ、今日の支部の発展につながっていることに、心より敬意を表します。

私自身も、かつて坂井支部長からお声かけをかけていただき、埼玉県支部の活動に関わらせていただきました。それが日本女子テニス連盟でのお仕事の第一歩となり今もそのご縁を大切に思っております。

埼玉県支部のこれまでの活動はテニスの普及はもちろんのこと「生涯テニス」の推進、女性の健康づくり、「競技テニス」、「講習会」の開催、未来を担う子ども達へのテニスの啓発、更には車いすテニス、ブラインドテニスなど障がい者テニスへの協力にも長年ご尽力されてこられましたことは大きな意義を持つものと思います。

そのような活動を通して、幅広い世代の多くの方がテニスを楽しみ健康で明るく豊かな人生を楽しむ場を築いてこられました。地域にとっても大きな誇りだと思えます。

また、1967 年日本女子テニス連盟は「女子のテニスは女子の手で」を目標に創設しました。その後取り組んできた活動内容に対し、2017 年には IOC 国際オリンピック委員会より「IOC 女性とスポーツ賞 アジア地域 最優秀賞」という名誉ある賞を受賞する事が出来ました。これは、全国の会員一人一人の地道な努力と情熱が結実した証であり、皆様がその一員であることに大きな誇りをお持ちいただきたいと存じます。

日々の活動の中で、皆様がテニスを通して絆を深め、学び合い、支え合いながら、それぞれの人生をより豊かにされている姿は大変心強く、又誇りに感じております。

又「会員の皆様に何が出来るか」を常に考え、実践されている支部役員の皆様のご尽力に、改めて深く感謝と敬意を表します

本部といたしまして、これからも支部の皆様と手を取り合い日本のテニス界の発展、女性の健康づくり、仲間づくり、子ども達へのテニスの普及、社会貢献に努めてまいります。テニスが出来ること感謝し、テニスを愛する仲間の輪を広げてまいりましょう。

高橋支部長はじめ役員・会員の皆様との絆を大切に日本女子テニス連盟の運営理念「誠意・情熱・希望」を胸に、次の 50 年へと歩んでまいりましょう。

結びに、埼玉県支部の更なるご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、創設 50 周年のお祝いの言葉といたします。



埼玉県テニス協会会長
上羅 廣

祝 辞

J L T F 埼玉県支部が、大きな節目となる 50 周年を迎えることとなりましたことをまずもってお慶び申し上げます。そして、いままでの足跡を綴った記念誌が発行され、そこにお祝いの辞を寄稿させていただく栄誉を賜りましたことに深く感謝申し上げます次第です。

これまでの貴団体の活動を振り返りますと、全国レディースをはじめとする全国規模の大会において数々の輝かしい成果を挙げ、その組織力を生かした活動により、埼玉県におけるテニス競技の発展に寄与されてきたことは大いに賞賛すべきものと考えます。

遡れば、2004 年開催の「彩の国まごころ国体」で、貴団体のサポートなど全県一丸での取り組みにより、テニス競技が総合優勝を勝ち取ることができたことは懐かしくもあり輝かしい記憶の一コマです。

また、ランク別や年齢別等の様々な大会や、親子テニス教室などを企画運営され、選手層の拡大並びに普及活動に積極的に取り組んでこられたことにも敬意を表します。

さらに、県内で開催されるハンディキャップテニスのボランティア活動にも永年に亘り積極的な取り組みをされてきたことは特筆に値するものと言えます。

埼玉県テニス協会との関係では、テニスの日やスポーツ総合センターでのスポーツフェアにおいて、キッズ対象のイベントに永年協力いただいております、この場をお借りして篤くお礼申し上げます。

これからもテニスに対する情熱と団結力を持って、次なる 100 年に向けて、貴団体が益々発展されることを祈念するとともに、埼玉県テニス協会としても、県内のテニス競技の発展に寄与できるよう連携を深めていきたいと考えております。

近年、スポーツを取り巻く環境は大きな転換点を迎えていますが、生涯スポーツとしてのテニスの魅力が色あせることはありません。

今後さらに、テニスを体験する機会の提供や技術力の向上に取り組むことで、心豊かなスポーツ人生が送れる社会の構築に貢献できるものと確信しております。

創立 50 周年をリボーンの年として、J L T F 埼玉県支部の活動が益々充実・発展していくことを心より祈念しております。

これまで J L T F 埼玉県支部の活動に携わった方々へ感謝申し上げるとともに、今後の活動に対する更なるご支援・ご協力が、今回の記念誌の意義をより高めてくれるものと確信しております。

記念誌発刊に携わった役員の皆さまのこれまでのご尽力に謝意を表しつつ、創立 50 周年に当たってのお祝いの言葉といたします。



滝本ふく枝 顧問

日本女子テニス連盟埼玉県支部創立 50 周年を心よりお祝い申し上げます。
昭和 50 年に 149 名で設立されてから 50 年を経て、初代支部長 故 坂井千恵さんをはじめ、諸先輩方々のご苦勞と関係団体、関係企業の皆様のご協力を得て埼玉県支部も大きく発展してまいりました。

私が前支部長の秋山さんから埼玉県支部を託された時は、全国一の会員数を抱える大きな支部に育っておりました。

当時の埼玉県支部は社会情勢も厳しく会員数の減少、コート確保の難しさ、パソコンの導入、ホームページの開設等、いろいろな面で変化していきました。

毎日が日本女子テニス連盟埼玉県支部のスケジュールで埋まって忙しい日々でしたが、それでも関係者皆様のご協力と役員皆様の支えと家族の理解もあり、充実した日々を送ることができました。

在任中は様々な経験をさせて頂き、心身ともに大きく成長出来た事に感謝しております。

テニスを通して、友達の輪が埼玉県から全国に大きく広がり、テニスに出会えて本当によかったと実感しております。

今後も日本女子テニス連盟埼玉県支部の充実した組織で更なる技術の向上、生涯スポーツとしての楽しみ、人とのふれあい交流の場として『テニスの輪を広げるとともに心の和を広げよう』の精神で、更なる一歩を踏み出していきましょう。

埼玉県支部の創設 50 周年おめでとうございます。

私が会員になった 40 年位前とは、女性の家庭における役割も変わり、コロナ禍での大会運営など、社会環境も厳しい状況下の中、役員の皆様のご苦勞しながらも、時代に合わせた活動をして頂いていると感心を致しております。

また、会員数の減少も全国的に考えさせられる問題点で、他県では色々な案を出して県協会とタッグを組み大会運営をしていると聞いたこともあります。選手の年齢層も高くなり、近年の異常気象等で大会も色々と見直されるなか、県代表選、ランク別戦、団体戦、親睦大会においても工夫を凝らした大会運営を期待しております。

人生百歳時代・テニス人口の高齢化など、今後ますます元気な先輩方も多く活躍することと思います。

現在、私も平日はクラブで汗を流しています。一緒にプレーしてくれる仲間を大切に、できるだけ長くテニスが続けたいと思っています。

支部役員として 13 年間…。H.C.T・理事長・支部長としてたくさんの皆様に支えられ、貴重な期間を共有できました事は、今でも有難く大切な経験だったと思っています。

今後の支部活動に大いに期待と応援をしています。



海田久美子 顧問



松井三子 顧問

「埼玉県支部創立 50 周年に寄せて」

創立 50 周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

これまでには会員数が 4,000 人を超え、大きく盛り上りをみせた時代もありました。「1979 年（昭和 54 年）第 1 回全国レディース硬式テニス決勝大会 埼玉県優勝！」は印象的な実績です。

また、近年新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、私が 2020 年支部長就任した時には、支部も予測できなかった状況をむかえました。そのような中では、役員及び会員を含めた関係各位が一体となり、活動の際には感染防止対策を最優先とした上で、各大会の実施方法の見直しや、会議等支部活動もオンライン化することで、精一杯の運営を続けることができました。

現在も様々な環境変化が起きていますが、テニスは寿命を延ばす生涯スポーツとも言われる中で 50 年続けてきたという自負を持って、清く・正しく・美しく、笑顔のたえない大きな輪の中で 100 周年目指し普及活動を続けていただきたいと願っております。



ソニー生命カップ
第 47 回全国レディース大会
埼玉県決勝大会にて

左より
第 7 代 高橋光子現支部長
第 5 代 海田久美子さん
第 3 代 秋山浩子さん
第 6 代 松井三子さん

JLTF 埼玉県支部 50 周年のあゆみ

昭和 3 9 年後半に私鉄沿線に続々とテニスコートつきの大団地ができ、家庭婦人が気軽にテニスを楽しむようになる
埼玉では東よりの武里・松原団地などでテニスが盛んになり、都内の大団地との交流から「女子庭球連盟」の存在を知ることになり埼玉県支部が誕生

1975 年（昭和 50 年）	支部結成 支部長 坂井千恵 会員数 149 名
1979 年（昭和 54 年）	第 1 回全国レディース硬式テニス決勝大会 埼玉県優勝
1980 年（昭和 55 年）	第 1 回 B 級、C 級ダブルス開催 会員数 453 名
1981 年（昭和 56 年）	第 1 回 A 級ダブルス開催
1982 年（昭和 57 年）	総会開催 会員数 962 名 第 1 回桑名杯開催
1983 年（昭和 58 年）	第 1 回 C 級千葉県・埼玉県対抗戦開催 各ブロックにてランク戦、親睦会開催
1984 年（昭和 59 年）	第 1 回ブロック対抗戦開催 埼玉県支部 10 周年記念（記念品 ポーチ・バターナイフ） 会員数 1,567 名
1985 年（昭和 60 年）	第 1 回フラワーカップ大会開催
1986 年（昭和 61 年）	審判活動始まる
1987 年（昭和 62 年）	第 9 回全国朝日レディース大会 埼玉県優勝
1988 年（昭和 63 年）	ハンディキャップテニスボランティア活動始まる
1989 年（平成 元年）	第 1 回関東八都県大会始まる
1990 年（平成 2 年）	支部長交代 岡田いづみ
1992 年（平成 4 年）	ゆうゆう会開催
1994 年（平成 6 年）	支部長交代 秋山浩子 第 1 回関東八都県地域桑名杯始まる
1995 年（平成 7 年）	阪神淡路大震災の義援金協力 第 1 回わかば大会開催 会員数 3,798 名
1996 年（平成 8 年）	第 18 回朝日レディース全国決勝大会優勝
1999 年（平成 11 年）	第 1 回関東八都県シニア大会始まる
2000 年（平成 12 年）	第 1 回埼玉レディーステニス大会開催 埼玉県支部 25 周年記念（記念品 オリジナルバンダナ・ラケット型バターナイフ） 会員数 4,318 名（会員数日本一）
2001 年（平成 13 年）	第 1 回軽井沢カップ（年齢別団体戦）開催 第 1 回軽井沢 Cup 大会優勝
2002 年（平成 14 年）	第 24 回全国レディーステニス大会全国決勝大会優勝
2003 年（平成 15 年）	第 1 回ピンクリボンレディーステニス大会開催 第 1 回 prince レディーステニストーナメント開催
2004 年（平成 16 年）	支部長交代 滝本ふく枝
2005 年（平成 17 年）	埼玉県支部 30 周年記念（記念品 ランドリーバッグ） 会員数 3,907 名
2008 年（平成 20 年）	第 6 回ピンクリボンレディーステニス全国大会優勝 第 1 回パール大会・シングルス大会（クイーンカップ）開催



2009 年（平成 21 年）

2010 年（平成 22 年）

2011 年（平成 23 年）

2014 年（平成 26 年）

2015 年（平成 27 年）

2016 年（平成 28 年）

2017 年（平成 29 年）

2018 年（平成 30 年）

2020 年（令和 2 年）

2021 年（令和 3 年）

2023 年（令和 5 年）

2024 年（令和 6 年）

2025 年（令和 7 年）

第 1 回ファミリーエンジョイテニス開催

JLTF クレストレディース by カーブステニス大会始まる

埼玉県支部 35 周年記念（記念品 | ランドリーバッグ）

広報誌一部カラー

東日本大震災

会員数 3,516 名

支部長交代 海田久美子

アップル杯（5 県対抗戦 IN 信州）参加

埼玉県支部 40 周年記念（記念品 | ランドリーバッグ）

ブリヂストンバレンタインカップ始まる

関東八都県地域桑名杯 60 歳以上の部始まる

会員数 2,907 名

第 1 回ステップアップ練習会開催

広報誌 B5 から A4 へ

クリスマスカップ（バレンタインカップ予選大会）開催

第 16 回ピンクリボンレディーステニス大会全国決勝大会優勝

第 40 回全国レディーステニス大会全国決勝大会優勝

支部長交代 松井三子

埼玉県支部 45 周年記念（記念品 | エコバッグ）

新型コロナウイルス感染症の拡大により大会中止延期相次ぐ

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会

会員数 2,307 名

第 1 回レベルアップ練習会開催

ソニー生命カップ全国レディーステニス大会サブ大会として

フレッシュアーズ大会（第 26 回わかば大会）・ベテラーノ大会開催

広報誌フルカラー・ネットエントリースタート

ヨネックスレディースチャレンジカップ 2023 開催

ピンクリボン大会第 20 回記念イベント親睦会開催

支部長交代 高橋光子

ソニー生命カップ全国レディーステニス大会

全国決勝大会会場が昭和の森から有明テニスの森へ

埼玉県支部 50 周年記念（記念品 | 手拭い）

会員数 2,151 名



50th 記念オリジナル手ぬぐい

制作者より | サイたま（テニスボール）でダジャレです。サイを般若の面で描いてみました。なぜ般若の面かというと、女性の鬼ですが色んな表情に見えるお面で、女子連の喜び悔しさ色んな感情を表しています。あとは手ぬぐいなので江戸っぽくしたくてやってみました。
書 | 堤田久美子 デザイン | 豊田来未



歴代役員名簿

		2006（H18）	2007（H19）	2008（H20）	2009（H21）	2010（H22）	2011（H23）	2012（H24）	2013（H25）	2014（H26）	2015（H27）	
常務理事	支 部 長	滝本ふく枝								海田久美子		
	副支部長							海田久美子				
	理 事 長	金子美津江		川本真知子				海田久美子		渋川 通江		
	広報委員長	深井 公子			水越 幸代					初井 都		
委員会	競技委員長	川本真知子		黒田 友子		林 和子				徳留ミツヨ		木月真佐江
	副委員長											吉村美佐子
	競 技	小林やよい		木月真佐江				小野 智美		伊集院國子		
	競 技	森 洋子			川口 智代			阿部由記子		徳留ミツヨ		
	競 技						塩川久美子		吉村美佐子			
	H C T	大関 洋子				内田 典子					西村 尚子	
	審判委員長	新井由利子		徳留ミツヨ					宮代登志子			
	審 判	徳留ミツヨ	小笠原久子		宮崎 若子		師岡 晴子		藤原 栄子		森 洋子	
	審 判	西久保貴美恵		荒木 洋子			宮代登志子		稲清水優子		阿部 純子	
総務	事 務 局	田中 幸				矢野 朋子				高橋 光子		
	会 計	永島 啓子		古賀 和恵		竹内 静枝		松本美智子		大川みどり		
	東ブロック長	和田 京子	森田美代子				宮崎 若子			高橋 緑		
	西ブロック長	東澤 慶子				大北久美子				小縣美知子		
	南ブロック長	黒田 友子	宇佐美宮子				木月真佐江			春日 孝子		
	北ブロック長	佐藤工ミ子				渋川 通江				木本 友美		
東ブロック	副ブロック長	森田美代子	林 和子		太田真智子		中里あつ子	芝田千恵子		豊田 広子	高橋 緑	宮本 祐子
	会 計	池谷 隆子	太田真智子		藤井 キイ		斉藤 優子		高橋 緑	瓜生 聡子		
	広 報	高橋 和子	依田 恵子		古岡 清美		初井 都		米沢 洋子		栄木三千代	
	競 技	林 和子	山田かおる		中里あつ子		小川 芳子		前田由美子	喜友名孝子		清水 香
	運 営	太田真智子		土屋 瑞江		芝田千恵子		弓削多優子		宮本 祐子		小澤 厚子
	運 営	水落 敦子		石野美智子		飯塚 悦子		豊田 広子	瓜生 聡子	小澤 厚子	元芳真理子	
	運 営	斉藤 尚美		橋本由美子		大藤 和子		大堀 浩子		下林 紀子		吉田みさ子
	副ブロック長	小久保恵美子		大北久美子		阿部 純子		松本美代子		櫻本 鈴子		近藤 晴子
西ブロック	会 計	竹下 裕子		黒木 敦子		松本美智子		植田 成江		谷島今日子		
	広 報	松本美代子		楢原智恵子		阿部 純子		吉原 明子		山下 由起		小林 幸子
	競 技	大北久美子		福岡 厚子		児島 壽子		岸田理恵子		貫井 明美		児島 壽子
	運 営	中岡 幸子		塩野幸恵子		古市 祐美		櫻本 鈴子		佐藤 明美	長畑 淳子	
	運 営	神永 章子	黒木 敦子	千葉 紀子		岩本 礼子		山中 美幸		佐々木由紀子		
	運 営	堀越 睦子	楢原智恵子	鳥羽瀬紫織	鈴木 詩織	西浦美奈子		内田 英美		佐藤 明美	高崎恵美子	
	副ブロック長	宇佐美宮子	長岡由美子		竹内 静枝		鍋倉 靖子		村山 立子		松井 三子	
	会 計	竹内 静枝		黒崎 淑子		小宮真由美		稲垣 佳実		杉本 章子		
南ブロック	広 報	別所 広子	水越 幸代		村田喜久枝		野本 治美		中通 史		青島ヨシ子	
	競 技	長岡由美子	瀬下さつ木	佐藤美知子		村山 立子		坂爪 京子	河村 直美		林 良子	
	運 営	木月真佐江		帆波 知子		光安真知子		尾張 圭子		春日 孝子	水道 英子	
	運 営	黒木くるみ	佐藤美知子	仙波和可子	坂爪 京子	大橋 好子		桜井 順子		内山 恵		
	運 営	沼尻 典子	鎌田 留美		鍋倉 靖子		河井 佳代		大根田きよこ	中島 由美		炭谷 綾子
	副ブロック長	志村美どり		渋川 通江		齋藤 徳子		大崎 裕子		木本 友美	鈴木佐登美	佐山 孝子
	会 計	古賀 和恵		栗林あけみ		田沼真由美		大島美佐子		甘楽 京子		
	広 報	馬橋 恵子		福井 光子		木本 友美		大崎 裕子	桑原 真紀		松崎 智夏	
北ブロック	競 技	小林さなえ	川口 智代		森 明子		小柳 靖恵		播本 峰子		佐野 美保	
	運 営	小島千津子	浜谷 朋子	齋藤 徳子		大石 育子		鈴木佐登美		佐山 孝子	山田 佳代	
	運 営	新井満由美		天野 正子		角田 純子		丸山いづみ		菊地 早苗		
	運 営	浜谷 朋子		金子美奈子		田沼真由美		小笠原信子		内海 玉恵		坂本 典子
	会計監査	八木千恵子		永島 啓子		古賀 和恵		竹内 静枝		松本美智子		
	HP 担当							小野 智美		矢野 朋子		

		2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31-R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	
常務理事	支 部 長	海田久美子				松井 三子				高橋 光子		
	副支部長					松井 三子		高橋 光子				
	理 事 長	渋川 通江		高橋 緑				吉村美佐子				
委員会	広報委員長	初井 都	矢野 朋子		柴木三千代				稲葉 英美			
	競技委員長	木月真佐江			吉村美佐子			小倉 美乃				
	副委員長	吉村美佐子	高橋 光子		小倉 美乃			元芳真理子				
	競 技	小倉 美乃			正田 尚子			宮川 圭子			平田 由香	
	競 技	吉村美佐子	伊藤 奈苗			倉橋理佐子		稲葉 英美		加東 知美		
	競 技			佐々木ゆかり		東 美知子						
	H C T	西村 尚子	宮下亜紀子				山田 理永 ※2022年度より常務理事				竹田 尚代	
	審判委員長	宮代登志子	吉村美佐子		霜野 玲子		小笠原久子			牧野 美幸		
	審 判	森 洋子	松下 広子			加藤有貴子		松本美智子		岩瀬 靖子		
	審 判	茅根ひとみ		霜 野 玲 子	山田 佳代		牧野 美幸		奥村奈津子		野本 淳子	
	総務	事 務 局	高橋 光子	宮本 祐子			馬屋原久子		堀本 陽子		長嶋 伸子	
会 計		大石 育子		川口 智代			高橋 和代			齋藤真美子		
東ブロック	東ブロック長	高橋 緑		元芳真理子				佐野美喜子		宮岡 祐子		
	西ブロック長	小縣美知子		土屋久美子				吉川 政子				
	南ブロック長	春日 孝子			宮川 圭子			川崎 民江		高岸真紀子		
	北ブロック長	木本 友美		高橋 和代			高原さとみ			加納 昌子		
	副ブロック長	宮本 祐子	元芳真理子	中川 美奈		佐野美喜子		高岡久美子	池田 寧子			
	会 計	元芳真理子	中川 美奈	田川 緑	佐野美喜子	堀本 陽子		岡村由美子	浅古美智世		富永 芳枝	
	広 報	柴木三千代	石崎さとみ		堀本 陽子		森泉 薫	長谷川由貴子		宮岡 祐子	杉山 綾子	
	競 技	清水 香	藤波由美子		田川 緑		森泉 薫		岡村由美子		小池美奈子	
	運 営	及川 紀子		荒井美津子		長谷川由貴子		高岡久美子	小島 和絵		小池美奈子	
	運 営	佐々木淑子		堀本 陽子		大場美智子		海老島美枝		富永 芳枝		日下部由美子
西ブロック	運 営	吉田みさ子	那須 由美		小和板智子		池田 寧子					
	副ブロック長	近藤 晴子	土屋久美子	福岡 厚子		和久井道代		田中 裕美	中村 貴世			
	会 計	滝口 后代		馬屋原久子		古澤 直美		林 恵美	齋藤真美子		近藤 美穂	
	広 報	田辺真由美		佐伯 映子		川越 直美		齋藤真美子		前田 晶	光村 典子	
	競 技	児島 壽子	中村 優子		米原 恵子		吉川 政子	中村 貴世	宮崎 美樹			
	運 営	板橋 千鳥	須藤 晶子		小林あす美		畔蒜 貴江		水谷 幸		栗原 裕子	
	運 営	井上 由美		小野 好子		林 恵美		金子由美子		田中 順子		
	運 営	高崎恵美子	馬屋原久子	小林富美子		田中 裕美		前田 晶				
	副ブロック長	林 良子		宮川 圭子		松村 直美		宇田 薫		田嶋加奈子		
	会 計	飯塚 浩子		長谷川誠子		岡田 悦子		荒井 里夏		清水 映子		
南ブロック	広 報	太田 清子		川崎 民江		西澤真由美		又木 紅美		安東 幸子		
	競 技	東 美知子		谷川 潤子		手塚 幸江		加東 知美		甲斐田真奈美	鈴木 理恵	
	運 営	水道 英子	宮井 恵美		新島 豊子		原田真由美		熊木梨香子		秋山 幸子	
	運 営	高岩 ゆみ		川口真由美		関野 美幸		山崎智香子		高岸真紀子	黒田 利枝	
	運 営	炭谷 綾子	関口 房代		尾形 愛美		手塚 幸江		甲斐田真奈美			
	副ブロック長	佐山 孝子	高橋 和代	主藤 和枝		高原さとみ	室田 結花	永見ひかり		加納 昌子	野口 克江	
	会 計	足立ゆり子		仲原 京子		中山 幸恵		三須 幸恵		根岸かおり		
	広 報	小林 恵美		中山真由美		服部実千代		永沼登久子		江森 幸子		
	競 技	佐野 美保	中村 操		室田 結花		加納 昌子		野本 淳子		森 由紀江	
	運 営	山田 佳代	高原さとみ		中山 幸恵		永見ひかり		天沼 早苗		野口 克江	宮崎 直美
北ブロック	運 営	主藤 和枝		寺田 幸子		加納 昌子		永沼登久子	生川美恵子		星野 美和	
	運 営	高橋 和代	小谷野多美子		渡辺 明美		新竹 文子					
	会計監査	大川みどり		大石 育子			川口 智代			高橋 和代		
	HP 担当	矢野 朋子		小倉 美乃		岩瀬 靖子						

		監督	No.1	No.2	No.3		会場 久我山
1979 年 (朝日レディース)	第 1 回	入内島紀代子	谷利ゆり子 小山 京子	大和 裕子 坂井 千恵	大知 正子 佐々木靖子	優勝	
1980 年	第 2 回	坂井 千恵	古川 和代 進士 民子	上村レイ子 大越 暁美	皆藤 幸枝 小林 幸子	3 回戦	
1981 年	第 3 回	"	古川 和代 進士 民子	小林 幸子 皆藤 幸枝	大越 暁美 上村レイ子	3 回戦	
1982 年	第 4 回	"	浅井 千鶴 秋山 浩子	中西 以子 松本由利子	松本のり子 山中理恵子	2 回戦	
1983 年	第 5 回	"	秋山 浩子 浅井 千鶴	進士 民子 上村レイ子	中西 以子 松本由利子	準優勝	
1984 年	第 6 回	秋山 浩子	渡辺 瑞枝 青柳 明子	小林 幸子 鈴木 道子	松本のり子 石川 純子	3 位	
1985 年	第 7 回	小林 幸子	皆藤 幸枝 熊谷婦美子	荒深 良子 矢澤 瑞珠	牧口 礼子 佐藤まり子	4 位	
1986 年	第 8 回	川上 信子	浜田 経子 安藤 春美	滝本ふく枝 東澤 慶子	木村 幸子 片山 弘子	1 回戦	
1987 年	第 9 回	谷利ゆり子	称寝佳代子 滝本ふく枝	浜田 経子 安藤 春美	高花三枝子 針ヶ谷則子	優勝	
1988 年	第 10 回	関原千鶴子	下村 昭代 高橋恵以子	森川 英子 酒井恵美子	三木 葉子 田中 孝子	1 回戦	
1989 年	第 11 回	進士 民子	金森恵美子 三木 葉子	沼口千代子 海田久美子	東澤 慶子 鳴川 悦子	4 位	
1990 年	第 12 回	称寝佳代子	中村 陽子 佐藤 恵子	小倉美枝子 須藤喜代子	田中 孝子 林 寛子	ベスト 8	
1991 年	第 13 回	佐藤まり子	酒井恵美子 内田 敬子	木村 幸子 黒河 美幸	飛田 礼子 森川 英子	3 回戦	
1992 年	第 14 回	金森恵美子	松井 三子 斉藤 恵子	森川 英子 原田 安子	水野 敏代 栗原 昌枝	ベスト 8	
1993 年	第 15 回	上村レイ子	安川 広子 飛田 禮子	大久保久子 富澤富美子	六川タエ子 岡部トキ子	ベスト 8	
1994 年	第 16 回	佐藤まり子	邊見つえ子 金子 貴美	本田 弘子 内田 敬子	林 寛子 吉岡貴美江	ベスト 8	
1995 年	第 17 回	谷利ゆり子	小倉美枝子 山田かおる	汐月 京子 江原和賀子	馬渡 一恵 田川 明子	ベスト 8	
1996 年	第 18 回	秋山 浩子	安川 広子 千葉 清美	栗原 昌枝 岡部トキ子	松本 和美 小川 桂子	優勝	
1997 年	第 19 回	安川 広子	田中 美好 上野 緑	浅見 裕子 花田 照子	永井 尚子 来嶋由里子	3 回戦	
1998 年	第 20 回	渡辺 瑞枝	林 寛子 山田かおる	杉崎 幸子 菅谷佳代子	田中 孝子 邊見つえ子	3 位	
1999 年	第 21 回	滝本ふく枝	小縣美知子 山内 愛子	岩元恵美子 成元寿美子	都築 幸子 鈴木 晶子	3 回戦	
2000 年	第 22 回	東澤 慶子	朴 美香 大北久美子	二瓶 悦子 浦田 美保	都築 幸子 鈴木 晶子	4 位	
2001 年	第 23 回	千葉清美・安川広子	古賀 昌子 大谷 恵子	谷 純子 櫻井めぐみ	本田 弘子 大庭 泰子	ベスト 8	
2002 年 (全国レディース)	第 24 回	林 寛子・松本和美	外山めぐみ 小野田愛子	杉山美奈子 田川 明子	小島 廣子 長畑 淳子	優勝	

		監督	No.1	No.2	No.3		昭和の森テニスセンター
2003 年	第 25 回	大北久美子・都築幸子	会田 明子 米山 有夏	佐藤 千鶴 石関 頼子	三宅 順子 藤田 都	2 回戦	
2004 年	第 26 回	岡部トキ子	会田 明子 葛西江里子	谷 純子 佐藤 千鶴	潤田 早苗 松田恵美子	ベスト 8	
2005 年 (ソニー生命)	第 27 回	安川広子・東澤慶子	宮井 恵美 太田 清子	木本 友美 金丸 智子	尾形 愛美 横山美恵子	1 回戦	
2006 年	第 28 回	邊見つえ子・杉山美奈子	石関 頼子 米原 恵子	清水由美子 尾形 愛美	宮井 恵美 太田 清子	ベスト 8	
2007 年	第 29 回	山田かおる	会田 明子 上原 千鶴	竹中 昭美 伊藤 史子	炭谷 綾子 阿部 純子	準優勝	
2008 年	第 30 回	海田久美子	松井 三子 宮下垂紀子	蛭間 清里 西浦美奈子	高橋 光子 内山 恵	4 位	
2009 年	第 31 回	岡部トキ子	米原 恵子 石関 頼子	太田 清子 亀谷 緑	尾形 愛美 清水由美子	ベスト 8	
2010 年	第 32 回	松本 和美	一里山尚美 宮井 恵美	嶋津 和恵 和久井道代	板橋 千鳥 山中 美幸	ベスト 8	
2011 年	第 33 回	松井 三子	角濱由香里 井上 明子	内藤美重子 武藤 行子	坂爪 京子 三浦 洋子	3 回戦	
2012 年	第 34 回	阿部 純子	角濱由香里 新井 恵美	谷上 令子 近藤 晴子	貫井 明美 松崎 智夏	4 位	
2013 年	第 35 回	滝本ふく枝	米原 恵子 和久井道代	三田 美加 前田 晶	恒川衣利子 山内美奈子	3 回戦	
	第 35 回	"	芝山 美樹 城野 茜	堤田久美子 大西 昌美	板橋 千鳥 高島日出子	ベスト 8	
2014 年	第 36 回	福原めぐみ	齋藤 圭子 常磐 千暁	荒井 里夏 川崎 民江	和久井道代 山内美奈子	3 回戦	
2015 年	第 37 回	"	大西 昌美 川崎 民江	堤田久美子 常磐 千暁	藤原佐美子 高橋美帆子	ベスト 8	
2016 年	第 38 回	炭谷 綾子	宮井 恵美 尾形 愛美	溝渕 佳子 田村 知子	大西 昌美 川崎 民江	準優勝	
2017 年	第 39 回	岡部トキ子	齋藤 圭子 松本みなみ	野本 淳子 木本 友美	前田 晶 吉川 政子	2 回戦	
2018 年	第 40 回	"	中村 優子 柴本美有紀	齋藤 圭子 松本みなみ	和久井道代 米原 恵子	優勝	
2019 年	第 41 回	宮下垂紀子	小林花甫里 古橋 佑夏	福土 由夏 青木 亮子	前田 晶 吉川 政子	準優勝	
2020 年	第 42 回	"	山田 理永 常磐 千暁	駒津 芳枝 田嶋加奈子	野口 克江 松本 絵美	4 位	
2021 年	第 43 回	海田久美子	鈴木 理恵 中條 明子	栗原美奈子 三村めぐみ	石田 恵美 小林美智子	3 回戦	
2022 年	第 44 回	田村 知子	栗原 史織 山本 りさ	今岡 貴子 高岸真紀子	鈴木 理恵 中條 明子	準優勝	
2023 年	第 45 回	"	渡辺ひかり 長船 淳子	丸山 美穂 永島 美穂	太田 靖代 又木 紅美	ベスト 8	
2024 年	第 46 回	溝渕 佳子	丸山 美穂 永島 美穂	山内美奈子 土屋奈津美	栗原美奈子 三村めぐみ	2 回戦	
2025 年	第 47 回	"	丸山 美穂 永島 美穂	江森さやか 六本木裕美	野村 ゆほ 小川 真央	3 回戦	

歴代卒業生（全国大会ベスト4）



第29回大会 準優勝



第40回大会 優勝



第30回大会 4位



第41回大会 準優勝



第34回大会 4位



第42回大会 4位



第38回大会 準優勝



第44回大会 準優勝

全国大会優勝・準優勝



第6回大会 優勝



第8回大会 準優勝



第16回大会 優勝



第17回大会 準優勝



ピンクリボンレディーステニス大会 歴代代表者 | 成績の記録

Pink Ribbon

		一般の部		50 歳以上（第 18 回～ 55 歳以上）の部		
2003 年	第 1 回	谷上 令子 宮井 恵美	関口 啓子 中岡 幸子	監督	2 回戦	
2004 年	第 2 回	阿部 純子 大橋ゆかり	田崎 節子 青木 修子		3 回戦	
2005 年	第 3 回	太田 清子 宮井 恵美	齋藤 悦子 古阪 訓子		準優勝	
2006 年	第 4 回	嶋津 和恵 一里山尚美	前田 雅代 清水美加子		2 回戦	
2007 年	第 5 回	板橋 千鳥 杉山 夏美	細田 貞子 高橋かず子		2 回戦	
2008 年	第 6 回	一里山尚美 山窪 晴美	上島 博美 坂爪 京子		優 勝	
2009 年	第 7 回	松崎 智夏 須田真由美	板橋 千鳥 杉山 夏美		2 回戦	
2010 年	第 8 回	嶋津 和恵 和久井道代	田中百合子 川崎ちひろ		準優勝	
2011 年	第 9 回	大西 昌美 小桐 明美	大川みどり 栗田 律子		2 回戦	
2012 年	第 10 回	長谷部秀子 元芳真理子	藤井 澄佳 須藤 晶子		3 位	
2013 年	第 11 回	荒井 里夏 川崎 民江	廿樂 京子 杉本 章子		1 回戦	
2014 年	第 12 回	田村 知子 溝渕 佳子	石崎さとみ 宮崎 浩美		3 位	
2015 年	第 13 回	嶋津 和恵 福島 笑子	須藤 晶子 三浦 洋子		2 回戦	
2016 年	第 14 回	小林 恵美 川越 直美	内藤 恵 水谷 幸		1 回戦	
2017 年	第 15 回	亀谷 緑 今岡 真理	石崎さとみ 宮崎 浩美		3 回戦	
2018 年	第 16 回	中村 優子 柴本美有紀	宇田 薫 松村 直美		田村 知子	優 勝
2019 年	第 17 回	鈴木 理恵 中條 明子	岡崎 成美 荒井 里夏		”	準優勝
2020 年	コロナ禍により中止					
2021 年	第 18 回	三村めぐみ 栗原美奈子	境野 勝代 石崎さとみ	川崎 民江	3 回戦	
2022 年	第 19 回	今岡 貴子 高岸真紀子	唐澤 裕美 内田 英美	和久井道代	ベスト 8	
2023 年	第 20 回	須田真由美 鈴木 淑江	高橋真千子 馬場 美幸	”	1 回戦	
2024 年	第 21 回	三田 美加 相澤 直子	石崎さとみ 宇佐美ゆみ	松崎 智夏	ベスト 8	
2025 年	第 22 回	油井 陽子 江面 由紀	北田さゆり 高橋真千子	”	3 回戦	

Kuwana杯

	第 1 ペア	第 2 ペア	第 3 ペア		監督
第 13 回	藤 原 松 本	清 水 井 原	濱 田 岡 田		川本真知子
第 14 回	小 柳 大 崎	今 田 佐 藤	森 山 田		”
第 15 回	高 橋 堀 本	若 山 秋 元	水 谷 森 田		”
第 16 回	高 野 林	川 越 関 口	川 原 長 瀬		”
第 17 回	長 嶋 高 橋	山 澤 神 山	平 野 大 野		”
第 18 回	佐々木 松 本	秋 田 蓮 沼	原 田 岡 野		”
第 19 回	田 嶋 池 田	伊 勢 栗 原	原 田 小 川		水越 幸代
第 20 回	渡 辺 山 口	江 嶋 根 岸	鈴 木 渋谷		木月真佐江
第 21 回	須 藤 島 崎	伊 藤 中 島	瀬 尾 越 田	60 歳以上の部	宮崎 若子
第 22 回	石 田 鹿子木	八木田 室 岡	川 渕 北 原		高橋 光子
第 23 回	山 本 浮 田	久保田 宮 岡	北 田 西 澤		渋谷 通江
第 24 回	木 田 前 田	田 中 会 沢	志 藤 石 田		木月真佐江
第 25 回	甲斐田 高 橋	小 林 青 木	桑 田 宮 崎		”
第 26 回	福 村 守 谷	前 川 雪 田	権 田 山 口		松井 三子
第 27 回	コロナ禍により中止				
第 28 回	保 科 鶴 見	渡 辺 田 中	佐久間 斎 藤	杉 江 眞 中	高橋 緑
第 29 回	大 熊 浅 見	小 菅 影 山	羽 鳥 安 岡	落 合 堀 田	吉村美佐子
第 30 回	福 屋 森 本	田 中 加 藤	澤 田 井 出	金 井 蒲 生	高橋 光子
第 31 回	岩 倉 石 井	千 葉 中 山	広 見 豊 島	宇田川 小 林	吉村美佐子
第 32 回	小 泉 関	大 園 福 田	小田嶋 増 田	佐 藤 緒 方	”

※第 12 回以前の結果は 30 周年記念誌に掲載

General

	第 1 ペア	第 2 ペア	第 3 ペア	第 4 ペア	第 5 ペア	監督
第 18 回	須 藤 志 水	池 上 佐 伯	西 浦 福 島	稲 尾 藤 田	熊 谷 窪 谷	金子美津江
第 19 回	金 子 谷 上	竹 中 藤 次	小 柳 帆 波	山 添 城 谷	西 川 岩 崎	”
第 20 回	藤 井 荻 原	細 田 谷	坂 田 廿 樂	市 川 嶋 田	小 林 佐 藤	川本真知子
第 21 回	佐 野 小 島	安 藤 西 野	田 中 黛	楠 瀬 大久保	山 谷 鈴 木	宇佐美宮子
第 22 回	日下部 正 能	堤 田 滝	金 子 北 田	杉 本 小笠原	長谷部 元 芳	水越 幸代
第 23 回	篠 田 岡 崎	兼 子 松 本	江 口 荒 井	飯 塚 高 橋	佐 藤 増 田	川本真知子
第 24 回	貫 井 松 崎	粟 屋 小 川	大 西 小 桐	小 高 広 沢	桑 野 沖 胡	海田久美子
第 25 回	三 田 前 田	吉 田 石 橋	新 井 茂 木	石 川 矢 崎	梅 谷 松 田	大北久美子
第 26 回	田 村 溝 渕	齋 藤 松 田	水 谷 小 林	福 井 崔	斉 藤 清 水	渋谷 通江
第 27 回	相 澤 井 村	渡 辺 松 藤	稲 垣 篠 原	鈴 木 六本木	大 澤 平 野	木本 友美
第 28 回	高 岸 今 岡	当 山 小 倉	池 田 栗 原	高 橋 堀 本	千 葉 須 藤	春日 孝子
第 29 回	塩 野 小 林	田 辺 小 川	三 好 池 田	谷 合 横 川	谷 島 小 野	小縣美知子
第 30 回	野 口 松 本	伊 藤 江 面	葉 山 舟 生	宮 川 宮 園	寺 田 宇佐美	高橋 光子
第 31 回	川 越 宮 崎	高 野 池 田	佐々木 田 島	- -	- -	吉村美佐子
第 32 回	コロナ禍により中止					
第 33 回	コロナ禍により中止					
第 34 回	小 池 谷 口	山 口 市 川	佐久間 加 藤	小 松（個人参加※前年度代表） 降 旗（ ” ）		吉村美佐子
第 35 回	和 田 安 部	唐 澤 内 田	小 林 守 谷			”
第 36 回	民 部 江 森	望 月 平 野	高 部 猪 島			元芳真理子
第 37 回	市 原 新 井	鈴 木 池 田	岩 崎 荒 川			長嶋 伸子

※第 17 回以前の結果は 30 周年記念誌に掲載

Senior

	50－54 歳	55-59 歳	60-64 歳	65-69 歳		監督
第 8 回	長 岡 杉 山	花 田 小 林	中 岡 銚 立	秋 山 粕 谷	70 歳以上	金子美津江
第 9 回	坂 爪 炭 谷	清 水 橋 戸	加 藤 宮 野	中 嶋 国 岡		”
第 10 回	土 屋 斉 藤	田 中 小野寺	土 門 人 見	織 田 秋 山		川本真知子
第 11 回	中 原 貫 井	小 縣 前 原	緑 川 古 阪	斉 藤 矢 部		”
第 12 回	板 橋 山 中	大 谷 鈴 木	高 橋 荻 野	高 井 豊 川		”
第 13 回	須 藤 三 浦	萩 原 小笠原	滝 沢 間	沢 野 銚 立		海田久美子
第 14 回	帆 波 篠 田	佐 藤 増 田	橋 戸 清 水	韭 沢 岩 崎		渋川 通江
第 15 回	境 野 金 子	坂 爪 貫 井	小野寺 田 中	高 橋 間		”
第 16 回	藤 原 杉 山	林 野 上	鈴 木 柴 田	後 藤 林		木月真佐江
第 17 回	廿 樂 杉 本	須 藤 三 浦	栗 田 斉 藤	原 田 谷 利		渋川 通江
第 18 回	宇 田 高 野	坂 田 山 中	折 田 横 山	塚 田 光 安	金 田 花 熊	”
第 19 回	川 越 飯 泉	塩 川 大美賀	土 屋 坂 爪	小野寺 田 中	韭 沢 谷 利	”
第 20 回	江 口 荒 井	廿 樂 杉 本	内 田 佐 藤	原 黛	稲 益 日 里	高橋 緑
第 21 回	古 市 北 田	岡 本 小 林	塩 川 大美賀	鈴 木 柴 田	高 橋 間	”
コロナ禍により中止						
第 22 回	山 内 田 村	宇 田 三 好	廿 樂 杉 本	内 田 佐 藤	小 山 村 田	高橋 緑
第 23 回	日下部 福 井	高 橋 池 田	大 室 小 寺	山 谷 萩 原	緑 川 古 阪	吉村美佐子
第 24 回	三 田 高 橋	崔 平 野	石 崎 宮 崎	石 野 斎 藤	橋 戸 田 中	”
第 25 回	荒 川 小 松	生 藤 岩 村	松 田 池 田	名 塚 大 川	原 黛	”
第 26 回	太 田 高 岸	松 崎 又 木	宇 田 三 好	横 山 阿 部	海 田 山 内	”

※第 7 回以前の結果は 30 周年記念誌に掲載

Chiba

	第 1 ペア	第 2 ペア	第 3 ペア	第 4 ペア	第 5 ペア	第 6 ペア	第 7 ペア	第 8 ペア	監督
第 25 回	神 田 大 島	田 村 吉 嶋	遠 藤 鎌 田	兼 子 長谷部	堀 岡 田	木 村 櫻 出	横 田 志戸摩	柴 田 上 山	金子美津江
第 26 回	甲 斐 土 屋	小 林 内 藤	田 渕 光 永	青 木 鈴 木	近 藤 宮 崎	須 永 鈴 木	福 井 矢 島	大 川 大 志 村	”
第 27 回	須 田 今 岡	恒 川 谷 島	久保田 斉 藤	井 口 祖父江	高 橋 鈴 木	木 村 鍋 島	藤 波 田 川	中 村 川 口	川本真知子
第 28 回	雨 宮 高 野	酒 井 守 谷	金 子 依 田	並 木 小 池	井 村 青 木	植 田 井 上	阿 部 宮 原	広 中 萩 原	”
第 29 回	吉 川 田 中	古 市 山 路	山 崎 新 保	折 田 若 林	石 川 矢 崎	大 森 設 楽	山 岡 横 溝	梅 沢 中 村	林 和子
第 30 回	湯 沢 高 瀬	崔 林	林 須 藤	長 嶋 平 野	鈴 木 前 田	石 川 神 戸	桐 明 長谷川	藤 倉 宇 田	”
第 31 回	川 崎 春 日	井 上 熊 倉	河 井 吉 田	夏 井 斉 藤	川 越 関 口	池 田 長 島	山 下 牧 野	秋 葉 谷 利	”
第 32 回	田 中 花 田	加 藤 村 山	堀 野 中 島	滝 林 中 村	本 橋 金 澤	野 村 林	齋 藤 舘 島	宮 川 宮 園	徳留ミツヨ
第 33 回	森 田 中 村	酒 井 渡 辺	関 口 砂 田	林 熊 田	窪 田 田 村	廣 瀬 伏 見	栗 原 伊 勢	青 羽 牧 野	”
第 34 回	清 水 藤 田	山 田 岩 村	江 口 北 村	山 田 鈴 木	柳 川 山 本	青 木 小 野	千喜良 大 山	川 邊 中 村	木月真佐江
第 35 回	清 水 永 島	古 賀 小佐々	江 尻 梶 山	佐々木 松 本	高 橋 藤 岡	海老島 内 藤	古 泉 淵 山	谷 川 青 倉	”
第 36 回	伊集院 長 妻	菅 原 土 本	山 本 浮 田	山 田 村 岡	西 澤 石 塚	高 部 猪 島	小 澤 小 澤	樋 口 宮 田	高橋 光子
第 37 回	小 林 益 田	富 松 溝 口	山 元 村 井	杵 鞭 田 中	丸 尾 荻 田	田 村 中 川	榎 本 前 田	泉 名 倉	”
第 38 回	角 田 藤 村	生 方 生 方	青 木 高 野	山 澤 西 村	高 見 棕 野	田 中 会 沢	辰 見 下 山	濁 川 堀 田	小倉 美乃
コロナ禍により中止									
第 39 回	二反田 山 崎	坂 巻 岩 崎	古 澤 川 渕	石 原 倉 松	倉 元 大 橋	石 橋 福 島	服 部 後 庵	今 野 秋 田	高橋 緑
第 40 回	牧 元 秦	木 内 相 馬	戸井田 中 川	金 子 菊 池	福 永 福 田	江 藤 杉 本	権 田 山 口	石 田 永 岑	元芳真理子
第 41 回	小 坂 菊 池	安 部 望 月	島 田 大 熊	大 西 小野田	名 越 富 永	若 林 池 田	正 田 畝 原	大 室 多	高橋 光子
第 42 回	家 守 入 江	久 田 渡 辺	下 境 落 合	比留間 秋 元	小 池 吉 原	澤 田 金 子	設 楽 酒 井	岸 上 大 宮	佐野美喜子
第 43 回	坂 上 小 原	河 野 福 田	渡 辺 三 浦	山 内 河 村	万 仲 山 越	寺 田 菅 原	齋 藤 小 平	今 井 高 砂	吉村美佐子

※第 24 回以前の結果は 30 周年記念誌に掲載



20250414 | prince レッスンイベント (山本 育史プロ)

50 周年記念イベント第一弾はプロによるワンポイントレッスン。プロのアドバイスに「目から鱗！」と皆さん感動していました。



20250521 | YONEX レッスンイベント (新井 麻葵プロ)

第二弾のプロレッスンも大好評。気温 30 度を超える中たくさんの方々に参加していただきました。



20250612 | ピンクリボン親睦大会

第三弾はピンクリボン全国決勝大会を模した親睦会！ 趣向を凝らしたイベントにみんな大興奮。



20250908 ～ | フラワーカップ大会

「はずれなしの大抽選会」を開催。
たくさんの企業の皆様にご協賛いただき
豪華な抽選会となりました。



Event

20251216 | クリスマスカップ第 34 回ゆうゆう会

ゆうゆう会を 50 周年記念イベントとして大宮第二公園で開催。
なんと 133 名もの参加者数となり、5 ペアの団体戦で戦いました。今回も豪華な賞品に皆さん大盛り上がり！



東ブロック | クラブ紹介

EAST BLOCK

シードテニスクラブ

「バラ色の 人生謳歌 シードにて」



ういんぶる井

「20年 仲間と歩み 若くいる」



クレッシェント

「買い物へ 行くととぼけて ラケバ持つ」



クローバー

「クローバー シミ隠しに 苦労婆」



パールテニス倶楽部

「テニス歴 年齢体型 幅広いかな～」



ブルーエンジェル

「加齢なる 青き翼の 天使舞う」



マロンチェリー

「コートでは 花咲く美魔女マロンチェリー」



J-Myth

「J-Myth いつまでも 仲良く楽しく」



ループル

「練習後 カロリー補給で 帳消しに」



西ブロック | クラブ紹介

WEST BLOCK

クッキーズ

「ラリーより 笑いが続く 四十年」



Team-Riz

「四人でも 楽しくテニス チームリズ」



First

「料理にも 同じ熱量 見せてみる」



あたごテニスクラブ

「あたごTC 畑とテニスの ニ刀流」



あさきテニスクラブ

「来てみてネ わきアイアイの あさきにネ」



上福岡テニスガーデン

「KTG コートの中では 30代」



リトルプリンス

「リトプリの 輝く女子に ひとめボレー」



南ブロック | クラブ紹介

SOUTH BLOCK

one and only
「この瞬間 テニスも出会いも 唯一無二」



ソルシエール
「永遠に 魅魔女でいたい ソルシエール」



ミント・ベル
「爽やかな 熟女淑女の仲間 『ミント・ベル』」



AAA
「㊦五十年 トリプルエーは 十年目」

S・S
「グリズリー 味わいたければ ご加入を」



ホットチリ
「打ちミスも 笑いで返す ホットチリ」



上尾テニスクラブ
「老いてなお 楽しみ一つ テニスかな」



M.N.C
「わがチーム みんな仲良し M.N.C」

シェリー
「どんな日も コートに向かう シェリーたち」



ミラクル・P
「最高の 仲間と笑顔 ミラクル・P」



M&Mickey
「Mickey は 球も絆も 深いのよ」

北ブロック | クラブ紹介

NORTH BLOCK



レガート
「メンバーは テニスも心も 名の如し」

CoCo クラブ
「CoCo クラブ いつもみんなの 憩いの場」



ソミュール桶川
「レッスン後 すぐに復習 ソミュールっ子」



バンビーズ
「バンビーズ 月日を重ね シニアーズ」



TTC
「つくし組 結成ママ友 今ババ友」

TENNIS CLUB YOSHIOKA
「空高く 桜堤に 舞う乙女」



ル・リアン - JAMMY
「スコアより 笑いのポイント 大事なル・リアン」



ル・リアン - JAMMY
「スコアより 笑いのポイント 大事なル・リアン」



TENNIS CLUB YOSHIOKA
「空高く 桜堤に 舞う乙女」

TENNIS CLUB YOSHIOKA
「空高く 桜堤に 舞う乙女」



ル・リアン - JAMMY
「スコアより 笑いのポイント 大事なル・リアン」



ル・リアン - JAMMY
「スコアより 笑いのポイント 大事なル・リアン」





広報委員長 | 稲葉 英美

今回の制作にあたり広報誌がどれだけ役立ったことか！
まずは歴代の広報委員の皆様へ感謝申し上げます。
粕井さん、矢野さんには制作にもご協力いただき誠にありがとうございました。
そして誌面をデザインし作ってくれた又木さん、お忙しい中たくさんのデータを美しくまとめていただき本当にありがとうございました。
皆でチェックを重ね作成いたしましたがお名前等に間違いがありましたらごめんなさい。私の老眼に免じてお許しくださいませ。

理事長 | 吉村 美佐子

創立 50 周年を迎え、記念企画にご賛同、ご協力をいただきました賛助会員様、企画・立案して進めてくださった役員の皆様、本誌を彩るたくさんの思い出を作りながら無事終了しましたことに感謝申し上げます。特に記念誌作成にあたり稲葉広報委員長をはじめ 50 周年記念誌編集委員の皆様、お忙しい中編集を一手にお引き受けくださった又木様、本当にありがとうございました。50 年の時を本誌とともに振り返っていただけますと幸いです。

50 周年記念誌編集委員

粕井 都	女子連は、今までもこれからもたくさんの人達の力で動いているんですね。感謝です。
矢野 朋子	記念誌で継続していく事の大変さ、素晴らしさを感じました。これからも『女子連』頑張って～
杉山 綾子（東）	50 周年記念誌の編集に携われて私自身も大変勉強になりました。歴史を紐解く過程が楽しかったです。
光村 典子（西）	校正作業で 50 周年という重みを実感しました。作成に参加させて頂き嬉しく思います。
安東 幸子（南）	50 周年という記念すべき節目に、編集委員として携われ光栄です。ありがとうございました。
江森 幸子（北）	先輩方の築き上げた 50 年の節目の記念誌に校正作業でかかわることができ感謝いたします。
又木 紅美	お手伝いする過程で、当時を振り返る先輩方のお話が聞けた時間はご褒美でした。大切な一冊です。



50 周年記念幕 | 高原さとみ